

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

| | |
|--------|---|
| 学校名 | 大阪府立すながわ高等支援学校 |
| 取り組む課題 | 生徒の自立支援 |
| 評価指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケートにおける授業参加と授業理解の肯定的割合向上 ・ ICT 機器を活用した授業を実践する教員の割合向上 ・ 教員を対象に ICT 機器の稼働率向上 ・ 関係機関を招聘しての研究授業および実践報告会への参加団体数向上 ・ 公開授業週間の参加教員数向上 |
| 計画名 | すながわ『ルック LOOK』プロジェクト ～ICTを活用した基礎的環境整備～ |

2. 事業目標及び本年度の取組み

| | |
|-----------------------|---|
| 学校経営計画の 中期的目標 | <p>2 地域の知的障がい生徒の就労支援の拠点校としての使命を果たす （1）支援教育のセンター的機能の発揮</p> <p>3 地域に貢献できる社会人、職業人を育てる校内組織の充実 （2）常に進化を続ける「学びと実践の人材」を育成</p> |
| 事業目標 | <ul style="list-style-type: none"> Y 数多くいる視覚・聴覚優位の生徒たちが主体的に授業へ参加できるよう、ICT 機器を用いて支援する。 Y 基礎的環境整備により、個々の特性に応じた自立活動の一斉指導（ビジョントレーニング）を行う。 Y 日々の自立活動によって、集中力やコミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上をはかる。 Y 視覚・聴覚支援によって全授業で「わかる」授業を行い、主体的でより深い学びを実践し、生徒・保護者の学校満足度を向上する。 Y ICT 機器を活用した授業の実践例を積み重ね、授業力向上をめざす。 Y 積み重ねられた実践例を関係各機関と共有することにより、支援教育のセンター的機能を発揮する。 |
| 整備した 設備・物品 (数量) | インタラクティブ短焦点プロジェクター（12台）、Wi-Fi アクセスポイント（12台） タブレット端末（8台）、スクリーン（12台） |
| 取り組みの 主担・実施者 | <p>取り組みの主担者： 将来構想会議（首席…プロジェクト取りまとめ） ICT委員会（首席 委員長）・サポートチーム</p> <p>取り組みの実施者： 全教員</p> |
| 本年度の 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> Y ICT委員会による機器活用に向けた教員研修。 Y 全授業での機器活用促進のため「初級・中級・上級」に分けた研修の実施。 Y ICT機器を用いた研究授業の実施（4回）。 Y 自立活動の効果検証についての校内実践報告会（1回）。 Y 生徒を対象とした授業アンケートの実施。 Y 教員を対象としたICT機器の使用についてのアンケートの実施。 |

| | |
|--------------------------|--|
| 成果の検証方法 と評価指標 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 授業参加の項目と授業理解の項目を授業アンケートに設定し、肯定的回答の割合を 60%以上にする。 ✓ ICT 機器を活用した授業を実践する教員の割合を 60%以上にする。 ✓ 教員を対象に ICT 機器の利用率についてアンケートを行い、利用率を 40%以上にする。 ✓ ICT 機器を活用した実践報告会と研究授業を 2 回以上行う。 |
| 自己評価 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生徒対象の授業アンケートでは、授業参加の項目と授業理解の項目で 80%以上の肯定的回答を得ることができた。…………… (◎) ✓ 各教科での ICT 機器を活用した授業を実践した教員は 71%であった。…………… (◎) ✓ 教員対象の ICT 機器の利用率に対するアンケートでは、各授業での稼働率は 52%の回答を得ることができた。…………… (◎) ✓ ICT 機器を活用した研究授業を 4 回、自立活動の効果検証についての校内実践報告会を 1 回、実施できた。…………… (○) ✓ 授業力の向上に取り組んだと回答した教員が 83%となり、昨年度に比べて 21%向上した…………… (○) ✓ 予想以上に利用率が上がった為、校長マネジメント予算を活用し、タブレット端末 (2 台) を追加し充実をはかった。…………… (○) |
| 次年度に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 授業参加の項目と授業理解の項目を授業アンケートに設定し、肯定的回答の割合を 70%以上にする。 ✓ ICT 機器を活用した授業を実践する教員の割合を 75%以上にする。 ✓ 教員を対象に ICT 機器の利用率に対するアンケートを行い、利用率を 60%以上にする。 ✓ ICT 機器を活用した実践報告会と研究授業を合計 4 回以上行う。 |